



たか子。あ、たか通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email: takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122 (共産党)

初

毎年の猛暑 エアコンは必須

エアコン助成検討の答弁引き出す

今年の夏は、経済的理由からエアコンが無く、あっても利用を躊躇して病院に運ばれてきた人が複数いました。

来年の夏は今年以上に猛暑が予測されます。暑さで命を削る事が無いように、行政は対策を講じていただきたい。

中信勤労者医療協会 理事長
鈴木 順



生活保護受給世帯の35%にエアコンが設置されておらず、高齢者世帯では40%が未設置です。

三分の一の世帯に
エアコンがない

猛暑の中で松本管内救急搬送者が三百人に迫る今、エアコンがないことは命に関わる事態です。9月議会で質問をします。



熱中症による
救急搬送数が急増

助成制度実施の
自治体例

東京都

65歳以上・障がい者対象に最大8万円補助

上田市

65歳以上の市民税非課税世帯に購入設置費用の二分の一、上限5万円

中野市

70歳以上の非課税世帯に購入設置経費の二分の一以内、上限7万円

エアコン購入補助
電気代補助を

市は支援策が必要なことを認め「市独自の支援策実現に向けて他市の事例を調査研究して検討を進めます」と答弁しました。



困窮世帯への補助が次の夏に間に合うようにみなさんと力をあわせていきます。

塩原孝子の
9月本会議質問
録画配信



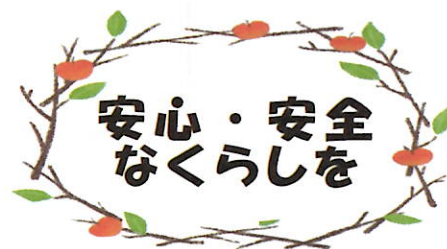
昨年に続き、今年の連日の猛暑は命が危険にさらされる、そのものでした。
生活保護を受け、一人暮らしをされている高齢者、アパートは六畳一間で西日があたり、エアコンのない室内では室温が35℃を超える日も多くあり、夜になっても30℃を下回らない日が連日続きました。6月末に自転車走行中に路上でふらつき、病院で点滴などを受け帰宅。
その後体調悪化が続き、一人で買物に出ることもできず、支援者（生活と健康を守る会）の援助を受けながら、病院受診、入退院を繰り返して、この夏何とか命をつなぐことができました。
物価高騰、光熱費の値上げでエアコンがあっても電気代の節約で使えないでいる人など、早急に公的援助が求められています。



生活と健康を守る会

山本清子

9月議会



生活保護をあたりまえの権利に

2013年から三年間に生活保護費が減額されました。全国で千人を超える当事者が「いのちのとりで裁判」をおこし、十年に及ぶ裁判で最高裁は保護費減額は違法だとして減額処分を取り消しと賠償を命じる画期的な判決を下しました。

塩原…最高裁判決に対して、未だ政府からの謝罪はない。苦しんできた市民に、市として謝罪すべきではないか。

市長…生活に困難を抱えられた市民がいたことは重く受け止めるが、保護は法定受託事務であり、本市が謝罪を行う立場にはない。

安心して外出できる街づくり

警察庁が発表した「認知症行方不明者」は全国で延べ一万八千人を超えています。7%の方は死亡した状態で発見されています。

塩原…市内防災無線を使った行方不明の人数、死亡した状態で発見された人数を問う。

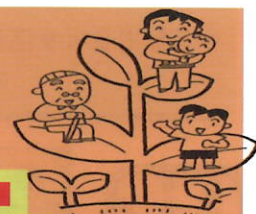
健康福祉部長…放送は令和5年6年は23件ずつ、死亡が1件と2件。本年度は8月末で12件放送、死亡が2件。発見に至らずが1件。

塩原…深刻だ。危機管理課の情報を高齢福祉課が活用できず、高齢福祉課が行方不明から発見までの経過を把握していないのは問題である。

早期発見のネットワークシステムを構築すべきだ。大牟田市は「認知症とともに暮らすまちづくり宣言」を発表している。松本市もこのような宣言をしたらどうか。

市長…現在策定中の「松本市認知症施策推進計画」へ認知症とともに暮らすまちづくりの想いを盛り込んでいく。

決算特別委員会



地方財政をゆがめる ふるさと納税

松本市民は他自治体に8億円納税し、他自治体からの納税額は5億円です。サイト利用や返礼品の管理経費で2億5千万円かかり、75%の交付税措置でも実質収支は9千万円。

地方税制をゆがめるふるさと納税はやめるべきです。

介護保険料の引き下げは可能だった

標準基準額は引き下げられましたが、保険料収入は令和5年度に比べて2億円増えています。準備基金が18億円あり、基金を取り崩せば、上の所得階層も引き下げられました。

財政調整基金の活用で物価高騰対策はもっとできた

国からの交付金は33億5千万円で、水道料金の基本料金の減免や低所得者対策を実施。市が上乗せした予算は8千8百万円のみでした。

基金が228億も積みあがっています。これを活用すれば、物価高騰対策ができたはずでした。

松本マラソン不正会計処理

市長・副市長の給料減額措置議案に、次の三点を理由に反対しました。

- ① 第三者委員会調査項目の中で今年度の予算の中に「市長は不正会計処理があったことを知りながら負担金の予算計上をした」ことに対する調査が含まれていない。
- ② 第三者委員会は市長に聞き取りをしていない。
- ③ 副市長は不正会計処理が行われた時点でその役職にはついていなかった。



特集

介護保険制度が始まって25年目を迎えます。介護者や現場の専門家からの相談が相次いでいます。一般質問で市民の声を紹介しながら「国の言うまま」という姿勢を正しました。



福祉用具の購入は以前事前申請しなくても購入できた。なぜ厳しくなったのでしょうか？

塩原…事前申請が必要になった理由は？ レンタル用品同一品目を複数利用できなくなっ

たのは何故か？
健康福祉部長…利用者が選択できる制度が追加された。必要性を明確にするように国から求められている。

塩原…軽度者の利用を容易にしてほしい。



住宅改修時、何度も書類を出し直す必要性があり、タイムリーに工事が出来ず転倒の危険があった。

塩原…住宅改修承認の基準は？
健康福祉部長…国の事例集を参考にしている。



介護の為に離職したが今年は課税世帯となり、住宅改修をしたかったが諦めた。

塩原…受領委任払い（※）は、松本市は非課税世帯のみが対象になっているが、全利用者に拡大すべきではないか。

※利用者が代金の自己負担額（1/3割分）のみを事業者（1/3割分）に支払う。

健康福祉部長…住民税課税世帯は費用の一時立て替えが可能と考える。対象者の拡大は考えていない。

塩原…事業者へのアンケートの実施を要望。国の負担割合を大幅に引き上げるべき。

ミサイルよりケアを大事にする政治を強く求める。

松本ルールをやめて！
(福祉用具事業者さん)

介護保険制度として厚生労働省もローカルルールの廃止に向けた取り組みが進められているはずですが、松本市は独自の考え方を持ち続けているように感じます。

他県市町村で問題なく行われている内容でも松本市では難しい状況でレンタル、特定福祉用具販売、住宅改修の許可が下りないケースがあり利用者様の実費となってしまったというケースも確認できています。他県市町村と大きな差が無いように正しく介護保険制度を市民の皆様が利用できるように改善して頂きたいと願っています。



介護保険のいま～制度が作り出している負担増とサービス減

年度 (1期3年)	負担の見直し=負担増	給付の見直し=サービスの削減	介護報酬	介護保険料
第1期 2000～2002	 【小泉構改革】	介護を「社会化」するとして介護保険は期待を集めました、国庫負担は介護費用の50%から25%へ。国の責任後退は当初から指摘されていました。	-	松本市の基準額 2,407円
第2期	●施設等の居住費・食費の徴収開始		▲2.3%	3,250円
第3期		●「要介護1」の大半を「要支援」に格下げしてサービス制限！	▲2.4%	4,590円
第6期	●一律一割負担だった利用料が「一定所得以上」2割へ 	●要支援の訪問介護と通所介護を保険給付から外し自治体の「事業」に置き換え！ ●特養入所の対象を原則要介護3以上に重度者に限定し、要介護1・2の人を切り捨て！	▲2.27%	5,694円
第7期	●「現役並み所得」が3割負担へ	 いま崩壊の危機にあるのは在宅介護サービスを提供する基盤。2024年の事業者の倒産、休業等は過去最高の784社でその7割が訪問介護です。「空白自治体」が全国で急増しています！	+0.54%(実質マイナス)	5,890円
第9期	●利用料2割負担の対象者拡大		▲2～3%	5,780円
第10期 2027～2029	利用料原則2割 ケアプランの有料化 要介護1、2の生活援助サービス等の総合事業への移行(保険外し)		アメリカの要求で軍備増強。社会保障費さらに削減へ！ 	

※ 改定内容は主なものを抜粋しています

暮らしの相談から

相談 高額療養費限度額について

高額療養費の限度額がいきなり引きあがってしまったのはなぜでしょうか？

対応

市の保健課に問い合わせをすると、前年度の所得に応じて限度額が変わるということが判明、パンフレットにて説明しました。

相談 児童センターに通えなくなった

児童センターに通っていた児童が、職員の人無言言葉で通えなくなっていました。

対応



児童センターに子どもさんを預けている保護者の方数人に状況を伺いました。子どもの人数に対して職員の人数が少なく、一人一人に寄り添えるようなきめ細やかな対応ができない状況があることがわかりました。

担当課から職員の配置基準、委託料、研修体制など聞き取りをしました。引き続きハード面ソフト面の改善を求めています。

相談 相次ぐ介護事業所の閉鎖

ケアマネをしています。小規模デイサービスの閉鎖が相次ぎ、ある系列会社では、デイサービスの他に有料老人ホーム、訪問介護事業所も閉鎖すると言う事も聞いています。介護事業の経営、スタッフの確保が大変になっています。

対応

高齢福祉課に閉鎖届を受理するだけでなく、実態把握することや、物価高騰での経営コストの増加に対しても財政面での支援をするよう求めました。

その後閉鎖予定の事業所と懇談をしました。

ほっとひといき



友達を招いて誕生会をするのに、ほたもちだけでは恥ずかしいので梨も出しました。包丁がうまく使えず、やっと剥いて友達に食べてもらいました。苦い思い出ですが、今では懐かしいあの頃です。

飯田で知人が栽培した梨を毎年購入しています。大玉でとても瑞々しく毎年心待ちにしています。

梨といえば思い出すのが小学生の誕生日の事です。お彼岸に生まれたのでいつも「ほたもち」がケーキ替わりでした。

議員研修会参加

名古屋で行われた生活保護問題議員研修会に参加しました。自治体によって運用実態に格差があるという報告がありました。市政をチェックしていきたいと思っています。

★QRコード読み込むと全国の自治体の生活保護率の増減がわかります



信州秋の赤旗まつり

二千人の参加でにぎわいました。田村委員長の講演に希望がわきました。



前参議院議員 井上さとしさんと

栗おこわ・いなり寿司・カステラ・里芋などを販売し、盛況でした。

病院健康まつり

青空の下、平和の歌を歌いました。毎年楽しみにしているという参加者からの嬉しい声



自治体学校・東京

今年はノーベル平和賞を受賞した被団協の田中照巳氏の講演を期待して参加しました。被爆の実相を若い世代に引き継ぎたいという強い思いが語られました。

自治体問題研究所の中山徹氏からは「核兵器と平和・共存に向けた自治体の役割」と題した講演があり、戦争する国づくりの現状が語られました。

私たちが知らない間に戦争がすぐそこまで近づいているとわかりました。

